

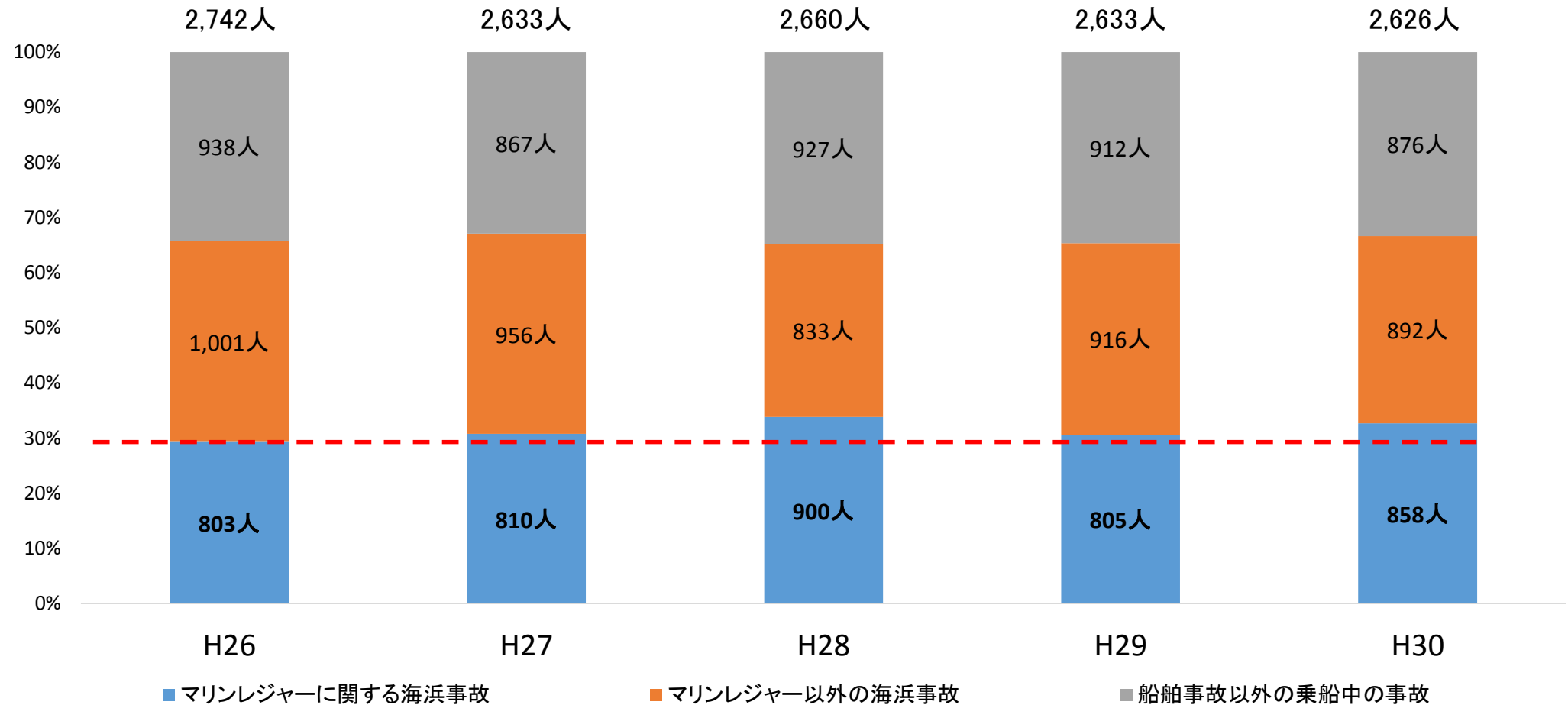
釣り中の事故発生状況

海上保安庁
交通部安全対策課

令和元年5月

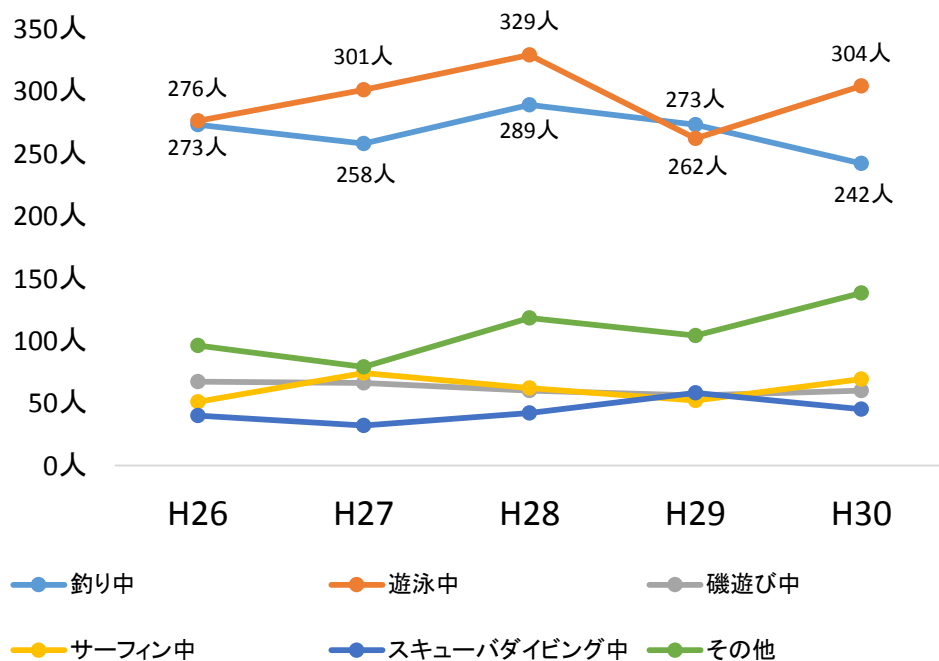
➤ マリンレジャーに関する海浜事故が全体の約3割を占め、発生推移はほぼ横ばい

人身海難発生推移

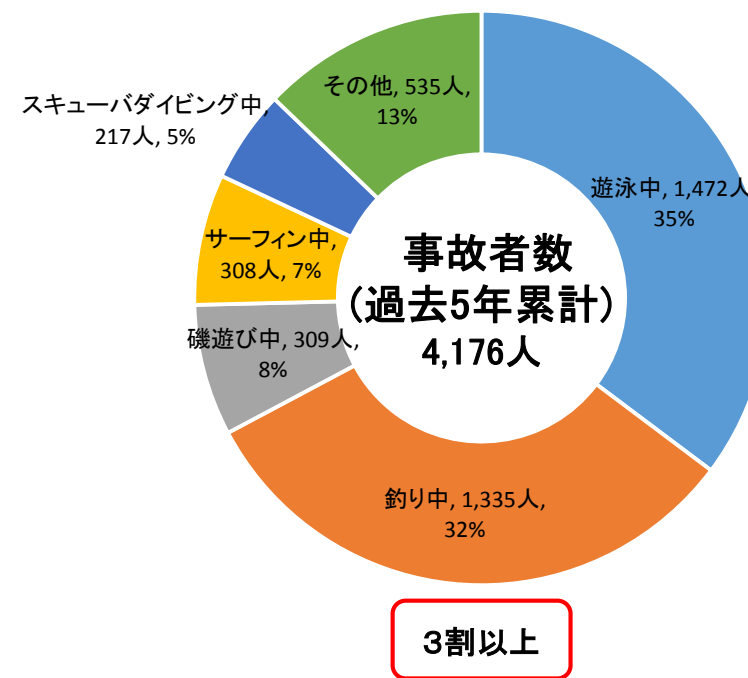


➤ 釣り中の事故が毎年250人程度発生しており、全体の3割以上を占める

活動内容別 発生推移

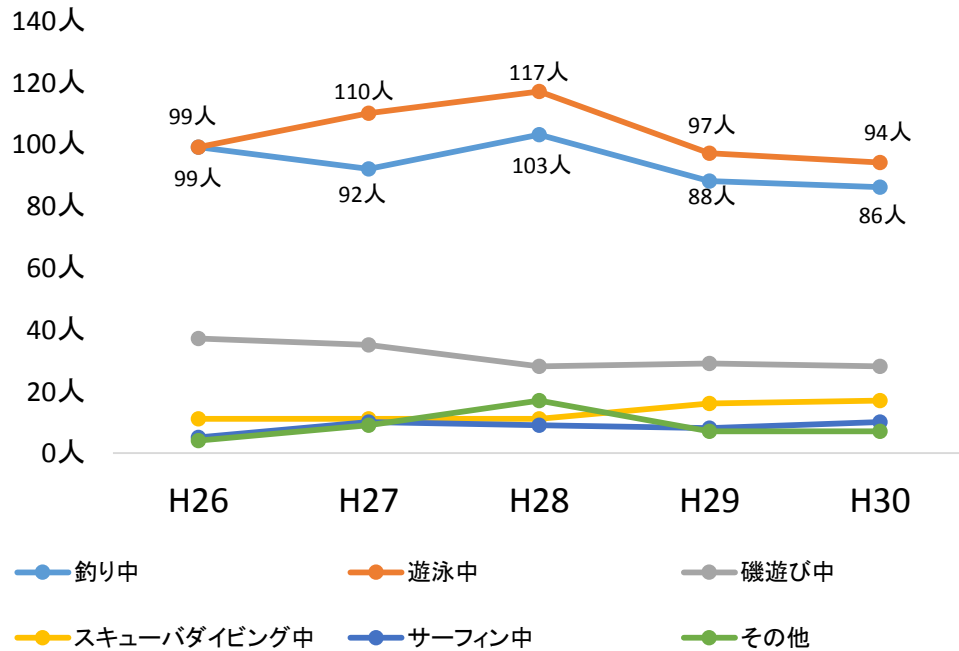


活動内容別 発生割合

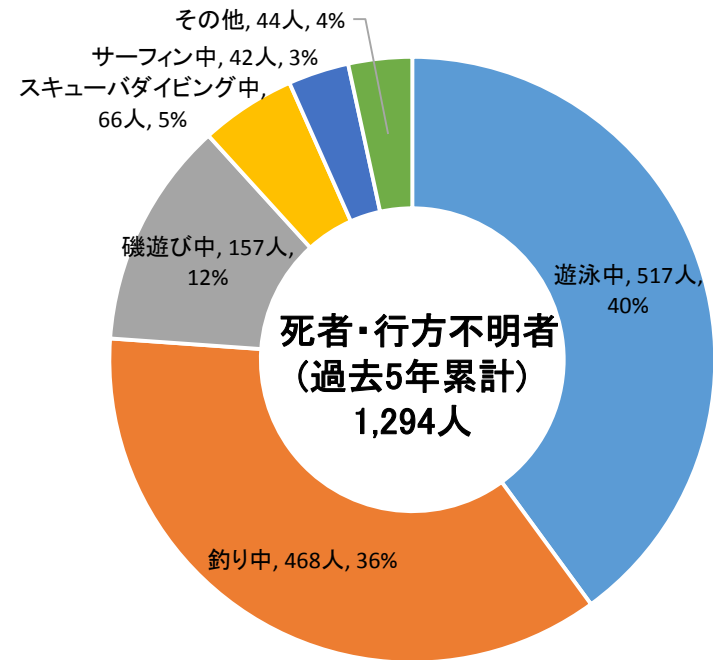


➤ 釣り中の事故に伴う死者・行方不明者が毎年90人程度発生しており、全体の約4割を占める

活動内容別 死者・行方不明者発生推移



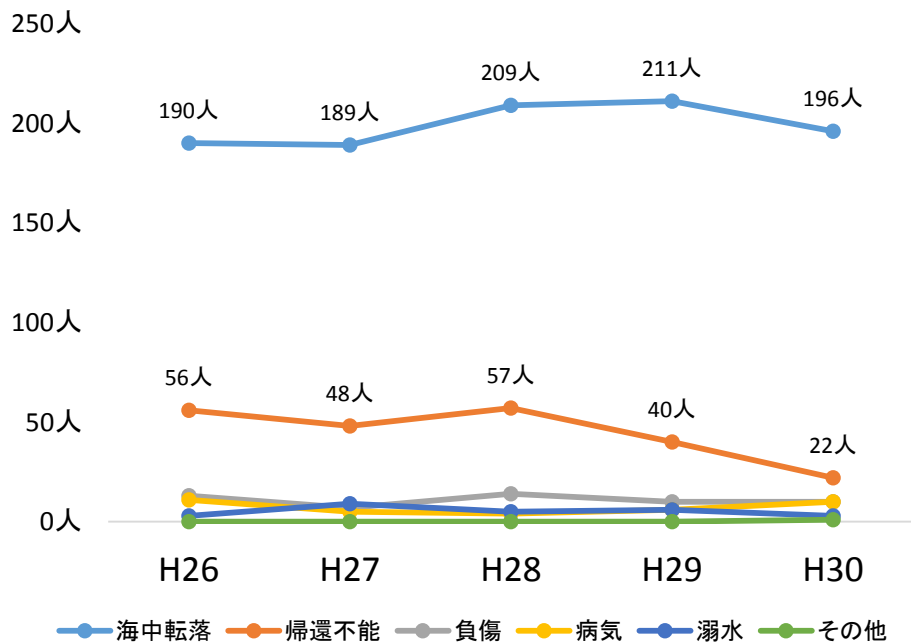
活動内容別 死者・行方不明者発生割合



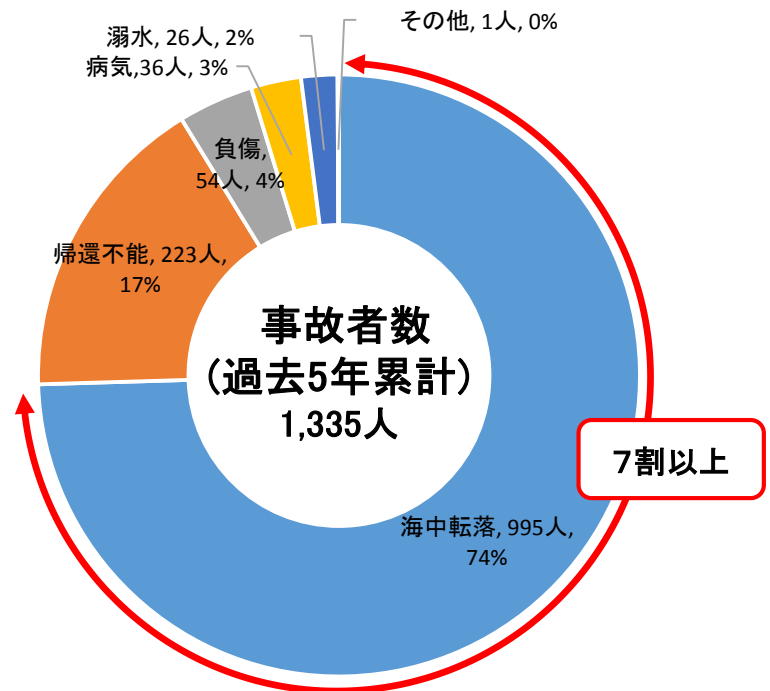
約4割

➤ 釣り中の事故のうち、海中転落が毎年200人前後発生しており、全体の7割以上を占める

釣り中の事故 事故内容別発生推移

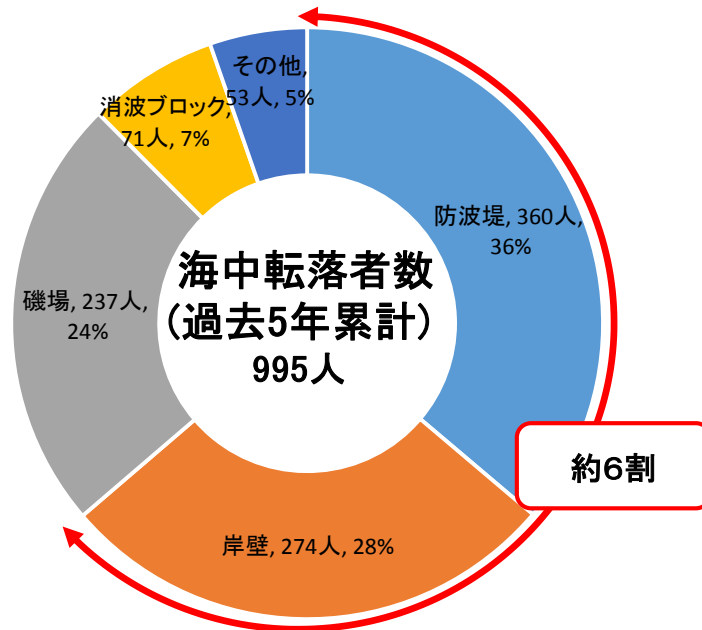


釣り中の事故 事故内容別発生割合

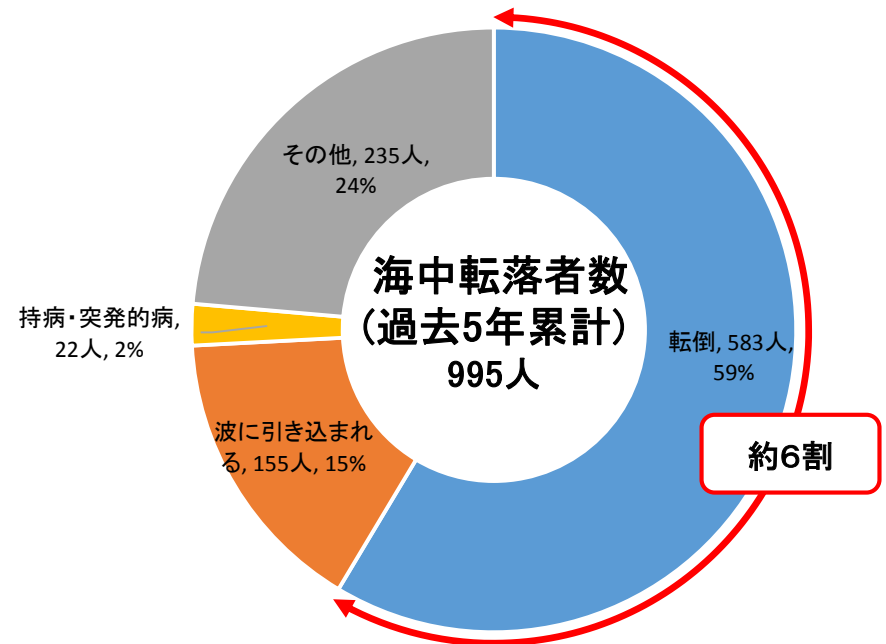


- 海中転落のうち、防波堤や岸壁で発生するものが約6割
- 転倒から海中転落に至る事故が約6割発生

釣り中の事故(海中転落) 場所別発生状況

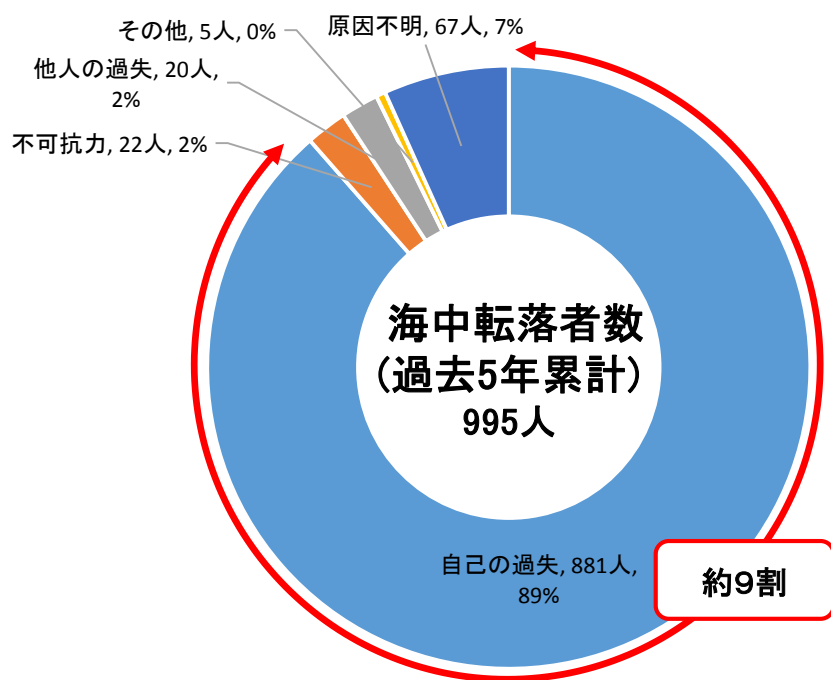


釣り中の事故(海中転落) 事故形態別発生状況

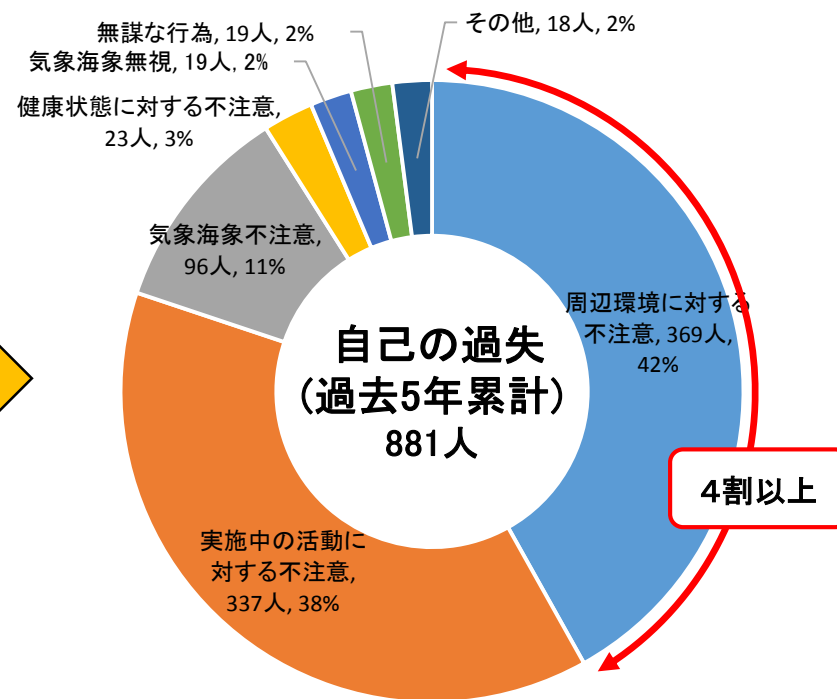


- 海中転落のうち、自己の過失によるものが約9割
- 自己の過失のうち、周辺環境に対する不注意によるものが4割以上

釣り中の事故(海中転落) 原因別発生状況

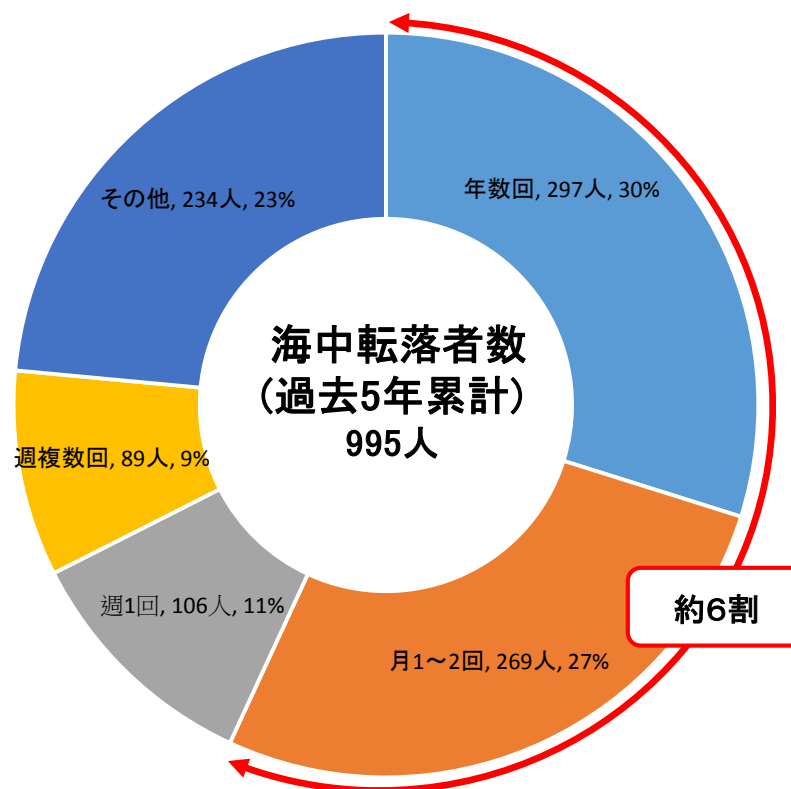


釣り中の事故(海中転落) 自己の過失詳細



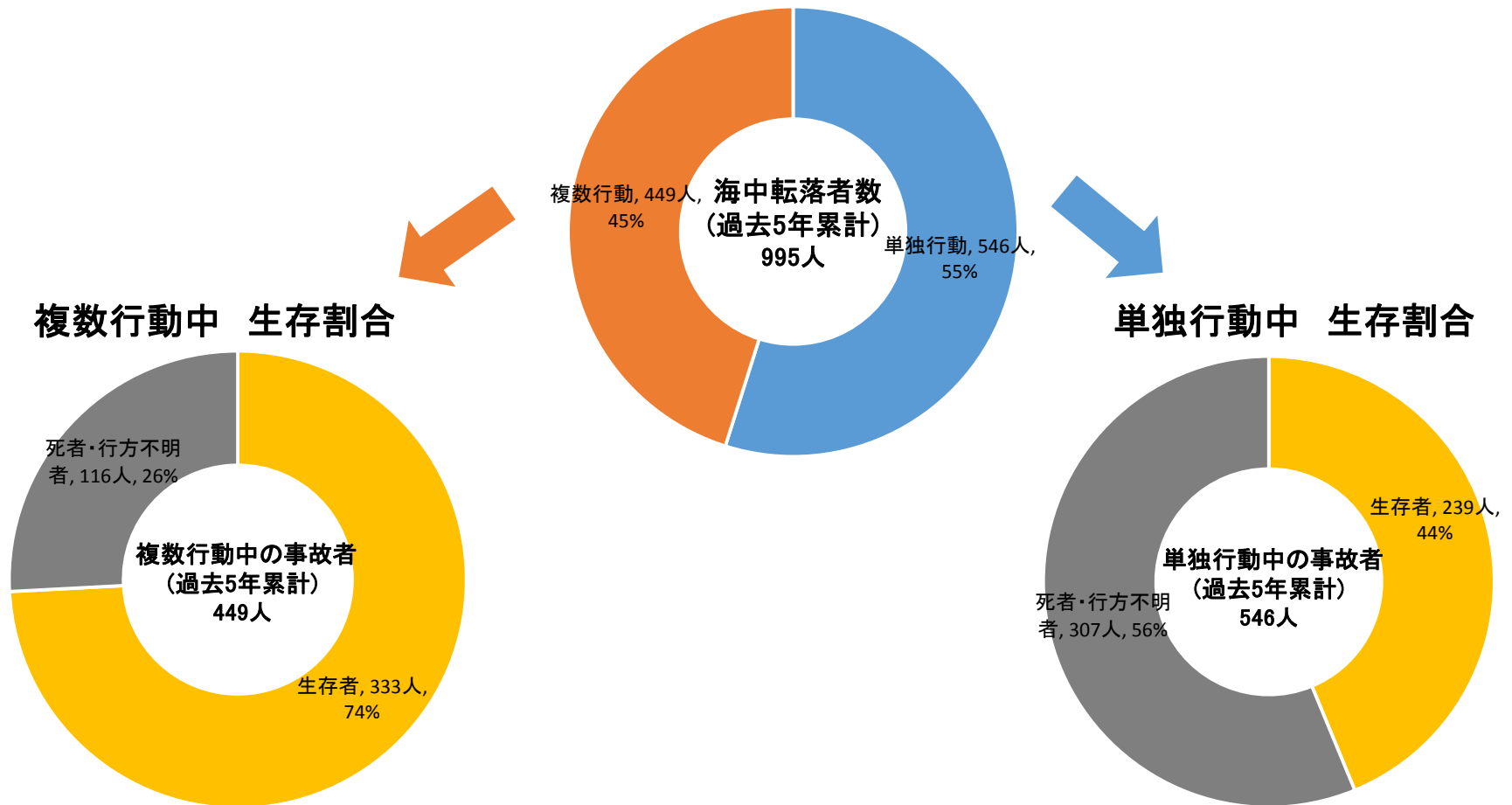
- 年数回や月に1~2回程度の活動頻度が高くない者による海中転落事故が約6割

釣り中の事故(海中転落) 活動頻度別発生状況



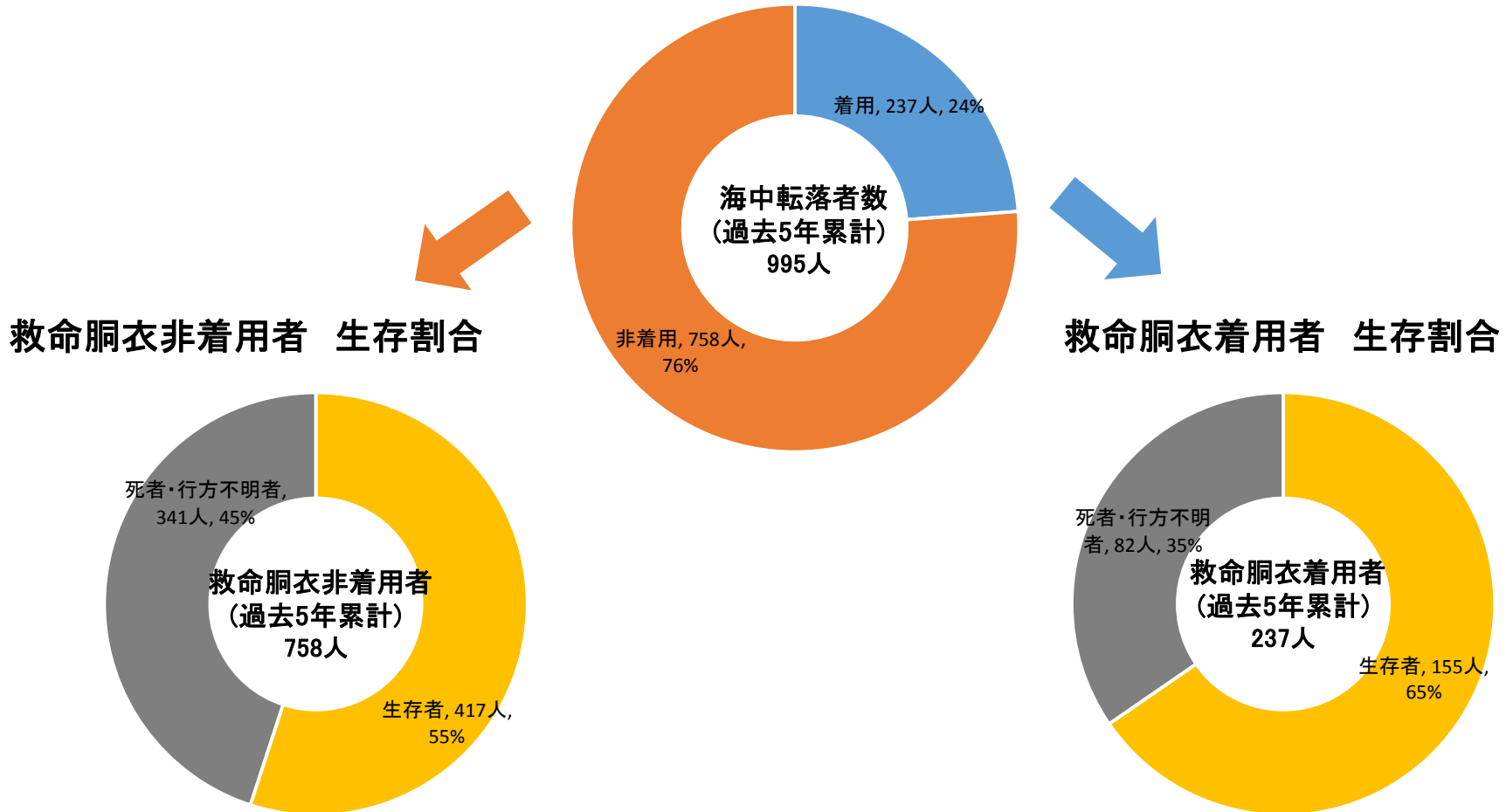
➤ 複数行動中の事故者は、単独行動中の事故者に比べて生存割合が高い

釣り中の事故(海中転落) 行動形態別割合



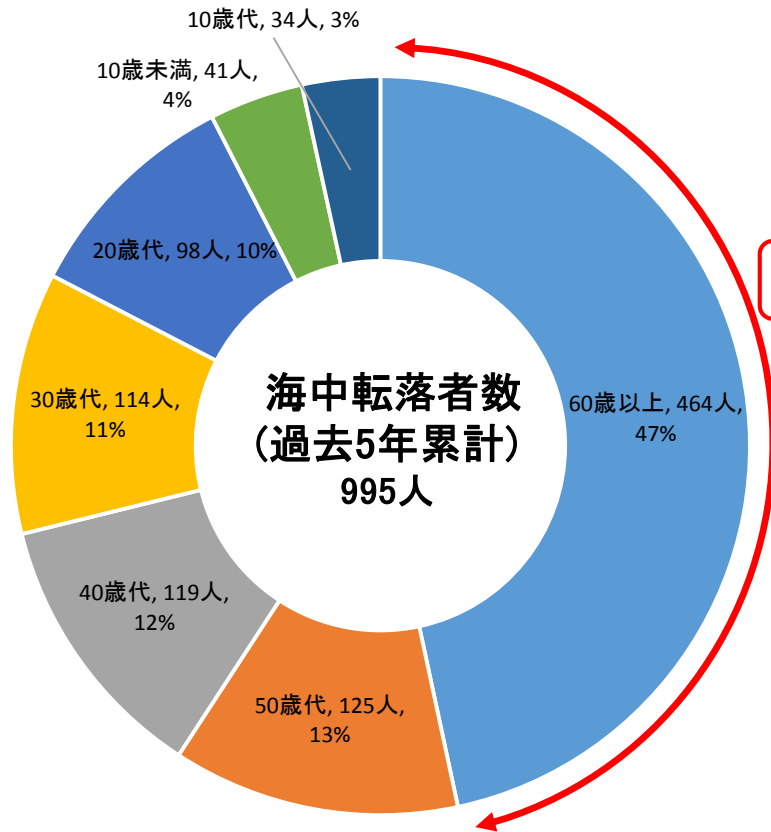
- 海中転落者の救命胴衣着用率は2割強と低い状況
- 救命胴衣着用者の方が生存割合が高い

釣り中の事故(海中転落) 救命胴衣着用状況

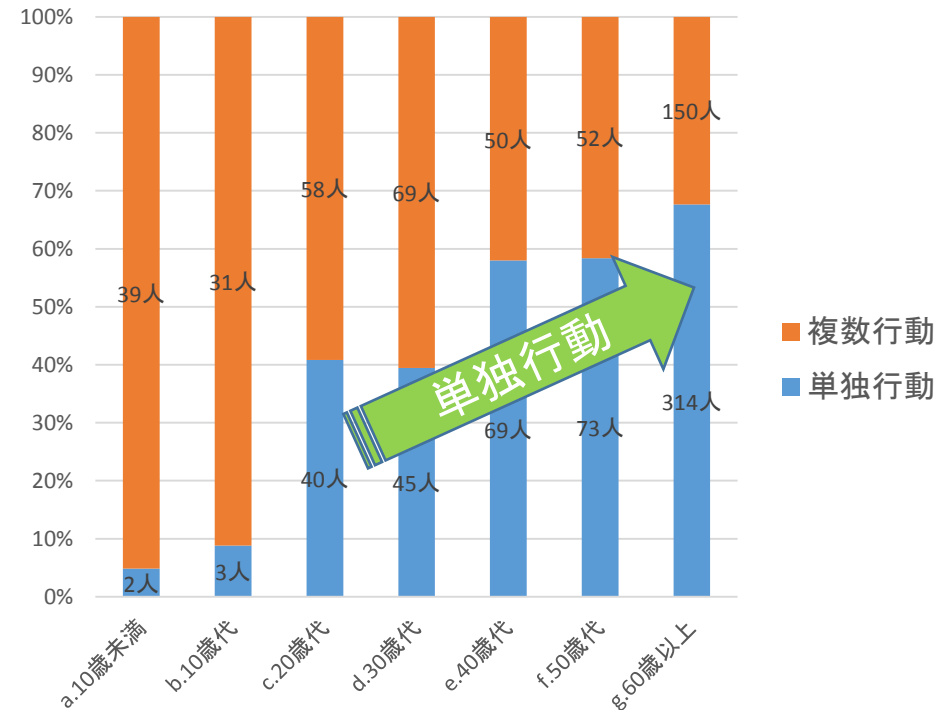


- 60歳以上による海中転落事故が全体の約5割を占める
- 年齢層が上がるほど単独行動の割合が大きくなる

釣り中の事故(海中転落) 年代別発生状況



約5割



単独行動

■ 複数行動
■ 単独行動